

Thunderbird設定変更手順



- Thunderbirdのメールサーバー設定を実施することでメール受信時にサーバーからデータを削除することができます。
- 本手順はThunderbird102で説明しております。上記以外のバージョンについては各バージョンに併せてご対応ください。

1. アカウント設定を開く

- ① 上部メニューから「メニュー」をクリックする
- ② 「アカウント設定」をクリックする



2. サーバー設定を選択する

① 「サーバー設定」をクリックする

アカウント設定 - xxxxxx@tranzas.ne.jp

アカウント名(N): xxxxxx@tranzas.ne.jp

既定の差出人情報
このアカウントで使用する既定の差出人情報を設定してください。この設定が表すために使用されます。

名前(Y): マクア太郎

メールアドレス(E): xxxxxx@tranzas.ne.jp

返信先 (Reply-to)(S): 受信者からの返信を受け取るアドレス

組織 (Organization)(O):

② メール設定内の項目を任意でチェックする

anzas.ne.jp

サーバ設定

サーバの種類: POP メールサーバ

サーバ名(S): xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx ポート(P): 995 既定値: 995

ユーザ名(N): xxxxxx@tranzas.ne.jp

セキュリティ設定

接続の保護(U): SSL/TLS

認証方式(I): 通常のパスワード認証

サーバ設定

新着メッセージがないか起動時に確認する(C)

新着メッセージがないか(Y) 10 分ごとに確認する

新着メッセージを自動的にダウンロードする(M)

ヘッダーのみ取得する(E)

ダウンロード後もサーバにメッセージを残す(G)

ダウンロードしてから(O) 14 日以上経過したメッセージは削除する

ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバからも削除する(D)

メッセージの保存

②ここを任意でチェック

【メール設定項目説明】

項目	説明
ダウンロード後もサーバにメッセージを残す	チェックした場合は、メッセージをメールサーバ上(Webメール)に残します メッセージを残さない場合はチェックを外してください
ダウンロードしてから [14] 日以上経過したメッセージは削除する	「ダウンロード後もサーバにメッセージを残す」をチェックし達場合にチェック可能です チェックした場合は 指定した日数後にメールサーバ上(Webメール)から削除します ※上記記載の場合、14日後に削除されます
ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバからも削除する	「ダウンロード後もサーバにメッセージを残す」をチェックし達場合にチェック可能です チェックした場合は 「ごみ箱」からメールを削除したときにメールサーバ上(Webメール)から削除します

※ [ダウンロード後もサーバにメッセージを残す] の項目がない場合
メールソフトとサーバの内容が同期される、IMAP方式での設定になっていますので本設定は不要です